

《資料1》

小諸商業高等学校・小諸高等学校統合に向けた実行委員会等の活動経過

(実行委員会設立までの経過)

平成 29 年 3 月 10 日	第 1 回小商・小諸同窓会連絡会
平成 29 年 4 月 14 日	第 2 回小商・小諸同窓会連絡会
平成 29 年 5 月 30 日	第 3 回小商・小諸同窓会連絡会
平成 29 年 6 月 17 日	小商・小諸高校同窓会総会
平成 29 年 6 月 27 日	第 4 回小商・小諸同窓会連絡会
平成 29 年 7 月 10 日	第 5 回小商・小諸同窓会連絡会
平成 29 年 8 月 8 日	第 1 回「学びの改革」に係る地域懇談会参加・発言
平成 29 年 9 月 7 日	第 6 回小商・小諸同窓会連絡会
平成 29 年 10 月 18 日	小商・小諸同窓会と小諸市との連絡会
平成 29 年 11 月 24 日	小商・小諸同窓会と小諸市との連絡会
平成 29 年 12 月 13 日	第 2 回「学びの改革」に係る地域懇談会参加・発言

(実行委員会設立後の活動)

平成 29 年 12 月 21 日	第 1 回小諸商業高等学校・小諸高等学校統合に向けた実行委員会 出席者：小諸市長、小諸市副市長、小諸商業高校同窓会長、小諸高校同窓会長、 佐久地域振興局長、佐久広域連合事務局長、小諸商工会議所副会頭、 佐久浅間協同組合常務理事、小諸市総務部長、小諸市教育次長、 小諸市企画課長、小諸商業高校長、小諸高校長、小諸商業高校 P T A 会長、小諸高校 P T A 会長、小諸市 P T A 連合会副会長、識見を有す る者（元小諸商業高校・小諸高校校長）、 小諸商業高校同窓会役員：5 名、小諸高校同窓会役員 5 名 内 容：実行委員会規約、会長の選出、役員選出、名称、新校のイメージ 意見交換、今後のスケジュール。
平成 30 年 3 月	「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針（案）」の公表（長野県教育委員会）
平成 30 年 4 月 23 日	小諸市長と実行委員会メンバーとの懇談 内 容：佐久地域協議会設置について要望書と働きかけについて。
平成 30 年 5 月 11 日	小諸商業高校・小諸高校統合に向けた実行委員会メンバー打ち合わせ 内 容：「高校の将来像を考える地域の協議会」の設立に向けて。 今後の進め方とスケジュール。
平成 30 年 5 月 28 日	地域協議会設立の要望書を実行委員会から佐久広域連合長へ提出 内 容：「高校の将来像を考える地域の協議会」の設立に向けた要望書提出。
平成 30 年 6 月 5 日	「小諸新校を考える会」第 1 回会議 委 員：両校校長・教頭、両校教諭 9 名、小諸市企画課 2 名 内 容：新校のイメージ等
平成 30 年 6 月 9 日	平成 30 年度小諸商業及び小諸高校同窓会総会 内 容：高校統合に向けた動きの経過報告

※校内委員会の設置。各校、校内委員会での検討及び、職員による討議。

- 平成30年6月19日 小諸高校「新校について考えるワークショップ」他
- 平成30年7月17日 「小諸新校を考える会」第2回会議
内 容：目指す姿・論点整理等
- 平成30年8月30日 「小諸新校を考える会」第3回会議
内 容：目指す姿・議論・各種データ等の確認
- 平成30年9月 「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針」の決定・公表（長野県教育委員会）
- 平成30年10月4日 小諸商業高校・小諸高校統合に向けた打ち合わせ
出席者：統合実行委員会メンバー
内 容：「小諸新校を考える会」の中間報告
「高校の将来像を考える地域の協議会」の設立に向けて、今後の進め方とスケジュール。
- 平成30年10月4日(木) 「小諸新校を考える会」第4回会議
内 容：基本理念・教育方針・概要等
- 平成30年11月26日(月) 小諸商業高校・小諸高校統合に向けた実行委員会メンバー打ち合わせ
内 容：経過報告（県教委との意見交換について）
「小諸新校を考える講演会（仮称）」について
今後の進め方について
- 平成30年12月4日 小諸高校・小諸商業高校委員による検討会
- 平成30年12月11日 第2回小諸商業高等学校・小諸高等学校統合に向けた実行委員会
内 容：経過報告と意見交換、「小諸新校を考える講演会」について、
今後の進め方について
- 平成31年 1月10日 「小諸新校を考える会 講演会」開催
講演会：16:30～17:30 会場：小諸高等学校音楽科ホール
講師：浦崎太郎 先生 大正大学地域創生学部教授
演題：「小諸はチャンスを生かせるか」
～今だからこそできる学校づくりとは～
参加者：実行委員会、県議会議員、両校PTA役員、県教育委員会、
長野県高等学校長会東信地区校長・副校長、両校教職員
- 平成31年1月17日(木) 「小諸新校を考える会」第5回会議
内 容：講演会の感想・意見、今後の進め方等
- 平成31年2月26日(火) 「小諸新校を考える会」第6回会議
内 容：両校からの提案、今後の進め方等
- 平成31年4月22日(月) 小諸商業高校・小諸高校統合に向けた実行委員会メンバー打ち合わせ
内 容：実行委員会の今後の活動について
- 令和元年6月10日(月) 地域協議会設立の要望書を実行委員会から佐久市長へ提出
内 容：「高校の将来像を考える地域の協議会」の設立に向けた要望書提出。

- 令和元年9月2日(月) 「小諸新校を考える会」第7回会議
内 容：これまでの経過・小諸新校の概要・今後の進め方
- 令和元年9月13日(金) 第3回小諸商業高等学校・小諸高等学校統合に向けた実行委員会
内 容：経過報告、地域協議会について、小諸新校のビジョン、
意見交換、今後の活動について
- 令和元年10月3日(木) 「小諸新校を考える会」第8回会議
内 容：実行委員会意見を受けて、小諸新校のビジョンについて検討
- 令和元年11月5日(火) 第4回小諸商業高等学校・小諸高等学校統合に向けた実行委員会
内 容：小諸新校のビジョン決定、地域協議会について、今後の活動について

実行委員会組織

(1) 構成員

(令和元年 11 月 5 日現在)

団体等	委員となる者	備考
小諸商業高等学校同窓会	会長 高見澤敏光	実行委員会 会長
小諸高等学校同窓会	会長 鷹野 昭裕	実行委員会 副会長
小諸市	副市長 濱村 圭一	実行委員会 副会長
佐久地域振興局	局長 吉沢 久	
佐久広域連合事務局	事務局長 小林 秀治	
小諸商工会議所	副会頭 塩川 秀忠	実行委員会 監事
佐久浅間農業協同組合	監査室長 小林隆一郎	実行委員会 監事
しなの鉄道株式会社	小諸駅長 島田 久茂	
小諸商業高等学校	校長 岩本 秀幸	
小諸高等学校	校長 寺島 克彦	
小諸商業高等学校PTA	PTA 会長 竹之内めぐみ	高校保護者代表
小諸高等学校PTA	PTA 会長 吉村実智子	高校保護者代表
小諸市教育委員会	教育長 小林 秀夫	
小諸市PTA連合会	副会長 田中 隆之	小中学校保護者代表
識見を有する者	西村 廣一	元小諸商業及び小諸高校校長

(2) 顧問

団体等	氏名	備考
小諸市	市長 小泉 俊博	

(3) オブザーバー

団体等	氏名	備考
地元議員	長野県議会議員 山岸 喜昭	
	小諸市議会議員 議長 竹内 健一	

(4) 事務局

役 職	氏 名	備 考
事務局長	依田 秀幸	小諸高校同窓会
事務局員 (小諸商業高等学校教頭)	山越 弘	小諸新校を考える会事務局
〃	福島 鶴子	小諸商業同窓会
〃	安藤 勝	〃
〃	小林 恒夫	〃
〃	渡辺 幸展	〃
〃	中島 則行	〃
〃	片山 幸子	〃
〃	東城 芳春	小諸高校同窓会
〃	古田 まり子	〃
〃	杉山 正美	〃
〃	中村 幸司	〃
〃	平井 義人	〃
〃	田中 尚公	小諸市総務部長
〃	内堀 浩宜	小諸市教育次長
〃	柳澤 学	小諸市企画課長
〃	春原 信行	小諸市企画課

《資料2》

「長野県小諸新校」構想（案）

統合実行委員会

1 新たな高校の必要性

小諸市だけでなく、日本のあらゆる地域が直面している、少子化、高齢化、格差の拡大等、地域・コミュニティは大きな転換点を迎えている。

このような中、2018年度からの県立高校第2期再編を巡り、少子化の進行により「地域から高校がなくなってしまうかもしれない危機感」を受け止めた小諸市内では、市内の高等学校、地域を交え統合実行委員会を組織して話し合いを続けてきた。

一方、高校を取り巻く環境は、IT（情報技術）等の急速な進化に伴い、変化が加速している。それにともない高校には、従来の基礎的、基本的な知識及び技能の習得に加え、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育むこと、またそのための主体的に学習に取り組む、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の場の充実が、急がれるようになってきている。

小諸市の新たな学びは、これまで伝統ある両校の教育活動の中で醸成されてきた普通科、商業科、音楽科の学びを受け継ぎながら、それぞれの特性を活かし、今まで以上に地域を学びのフィールドとし、変化の激しい時代に生きる子どもたちが、自らの未来を、そして自らの生活する地域の未来を創造するための力を養成する学びの場としていきたい。

2 基本理念

多様な進路を志すもの同士が協働して学び、本物に触れ、実社会を学びのフィールドとし、新たな社会を創造する一員として活躍する有為な人材を育む。

3 教育方針

- (1) 地域をフィールドとした協働的・探究的な学びをとおして「課題発見力」「探究力」の伸長を図るとともに、地域の発展に貢献できる人材を育む。
- (2) グローバルな視点・感覚を涵養するとともに、コミュニケーション能力や多様な観点から考察する能力（クリティカル・シンキング）等を育む。
- (3) 主体的な学びをとおして、自らの可能性と未来を切り拓く力に気づき、より大きな夢に向かって挑戦する人材を育む。

4 学びのしくみ

希望の進路の獲得を実現するため、知識・教養の習得だけに留まらず、思考力・判断力・表現力、そして学びに向かう力や人間性を備えた、確かな学力を身に付けるとともに、主体的に課題解決に向かう力、考え抜く力、協働して課題解決にあたる力等、“社会人基礎力”を養成するための学びの仕組みを構築します。

(1) 「ホンモノ」に触れる学びのしくみ

地域に出ていき、地域のリアルな「ホンモノ」の課題に触れる経験を通し、自ら問いを立て、

地域の「ホンモノ」の人々と解決に向けて行動していく中で、「自分の可能性を広げ」「地域の未来を担う力」を育むためのしくみを構築

- ・地域探究ゼミで、仲間とともにリアルな地域課題に取り組む
- ・外部講師を積極的に活用し、最前線のホンモノの経験や学び、ホンモノの技術に触れる
- ・生徒自ら考案する「プラン」にもとづき行われる海外留学・海外の研修機関と連携した研修機会を支援
- ・デュアルシステム(授業時間内企業実習)を充実

(2) 学科横断型学習を実施

普通科、商業科、音楽科の枠を超え、幅広い学びの場を提供するとともに、多様な価値観に触れ、協働する力を育む。

(3) 個別最適化された学びのプログラム

BYOD (Bring Your Own Device) 化によって先端技術 (EdTech) をフルに活用し、個別最適化された学習支援システムでの学習により、確かな基礎学力の定着をはかる。

- ・少人数での学習
- ・一人一台タブレット、個人に最適な学習ソフト、学習支援システムによる確かな基礎学力の定着
- ・遠隔授業を導入し、多様な人々との協働した学習を実現

5 学びを支えるしくみ

(1) 小諸コンソーシアム構築

地域、市町村、大学、短大、近隣の高等学校、小中学校等の学術機関等、高校を中心とする地域すべてが学習のフィールドとなるような仕組みをめざす。

(2) 学校環境整備

新しい学びに対応する教育環境の整備

- ・地域と施設整備を共有 (体育館、音楽ホール等)
- ・ICT環境の整備 (一人一台タブレット等教具、Wi-Fi 環境の充実はもとより、それらを活用した遠隔地や海外との交流、クラウドを利用した学習のしくみの構築)
- ・活動コーディネーター、学校アドバイザー
- ・校外での活動を保障する柔軟なカリキュラムの作成
- ・インクルーシブな学校づくり (障がいのあるないに関係なく快適に学べる環境を整備)

自分と地域の未来を創造する力を育む

小諸新校 未来創造学科

- 【Social リーシャルイノベーション専攻】 普通科目を中心に、興味関心に応じた、より高度な学びの中で問題解決の実践力を育成
- 【Business ビジネスフロンティア専攻】 商業専門科目を中心に、動いて学んでつながって、地域耕す実践力を育成
- 【Music ミュージッククリエイション専攻】 音楽専門科目を中心に、より専門的な学びの中で芸術文化活動の担い手としての実践力を育成

幅広い
選択科目
専攻横断型
カリキュラム

確かな学力 + 社会人基礎力 ⇒ **希望の進路を実現**
《大学進学（国公立大学、私立大学）・就職・留学》

地域の魅力・専門分野のリアルな課題、第一線のスペシャリスト…
ホンモノに触れるリアルな学び
目指すは真のグローバル! (Think ローカリー + Act グローバリー)

個別最適化された学びのプログラム
少数での学習
一人一台タブレット
個人に最適な学習ソフト
遠隔授業
オンライン英会話
プログラミング

ホンモノから学ぶ
**外部講師
地域教材活用**
授業・実践的英語
地域探究ゼミ

仲間とともに
リアルな地域課題に
取り組む!
地域探究ゼミ
専攻横断・地域連携
PBL (課題解決学習)

ホンモノを体験する
自分でプランを作成する
海外留学・研修
(企業・大学での長期研修)
デュアルシステム

